

東京湾の水質状況

1 生活環境の保全に関する環境基準（海域）

(1) 化学的酸素要求量（COD）

項目 類型	利用目的の適応性	基準値	
		化学的酸素要求量（COD）	
A	水産1級 水浴 自然環境保全及びB以下の欄 に掲げるもの	2mg/L 以下	
B	水産2級 工業用水 及びCの欄に掲げるもの	3mg/L 以下	
C	環境保全	8mg/L 以下	

※自然環境保全 : 自然探勝等の環境保全

水産1級 : マダイ、ブリ、ワカメ等の水産生物用及び水産2級の水産生物用

水産2級 : ボラ、ノリ等の水産生物用

環境保全 : 国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

(2) 全窒素 全りん

項目 類型	利用目的の適応性	基準値	
		全窒素	全りん
I	自然環境保全及びII以下の欄 に掲げるもの (水産2種及び3種を除く。)	0.2mg/L 以下	0.02mg/L 以下
II	水産1種 水浴及びIII以下の欄に掲げる もの (水産2種及び3種を除く。)	0.3mg/L 以下	0.03mg/L 以下
III	水産2種及びIVの欄に掲げる もの (水産3種を除く。)	0.6mg/L 以下	0.05mg/L 以下
IV	水産3種 工業用水 生物生息環境保全	1mg/L 以下	0.09mg/L 以下

※自然環境保全 : 自然探勝等の環境保全

水産1種 : 底生魚介類を含め多様な水産生物がバランス良く、かつ、安定して漁獲される

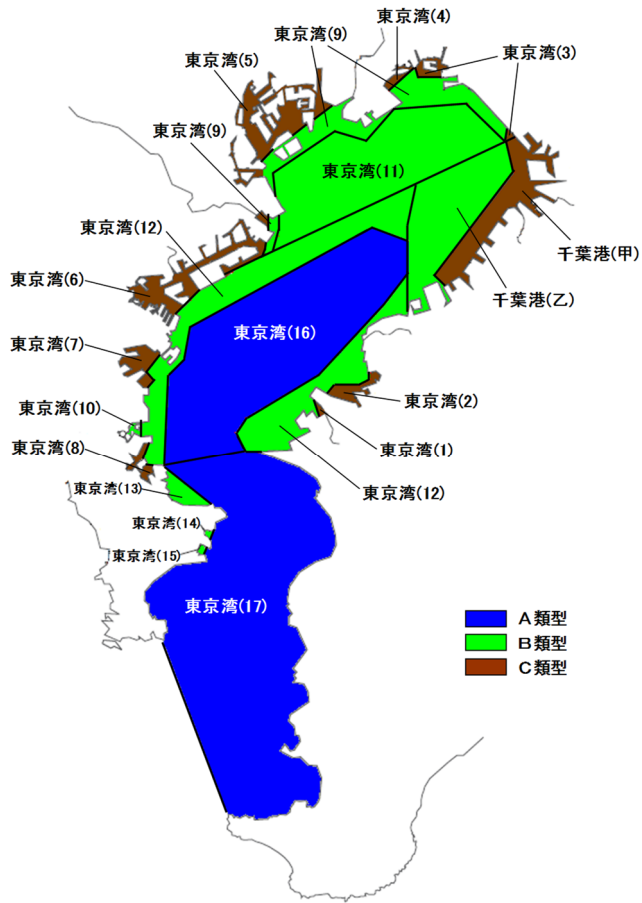
水産2種 : 一部の底生魚介類を除き、魚類を中心とした水産生物が多獲される

水産3種 : 汚濁に強い特定の水産生物が主に漁獲される

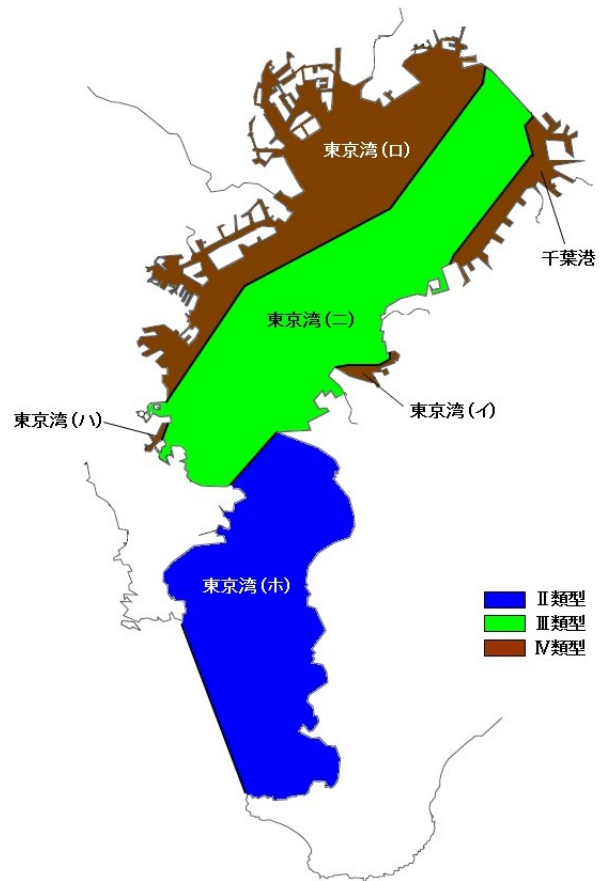
生物生息環境保全 : 年間を通して底生生物が生息できる限度

東京湾における類型指定図

【化学的酸素要求量等（COD等）】



【全窒素、全りん】

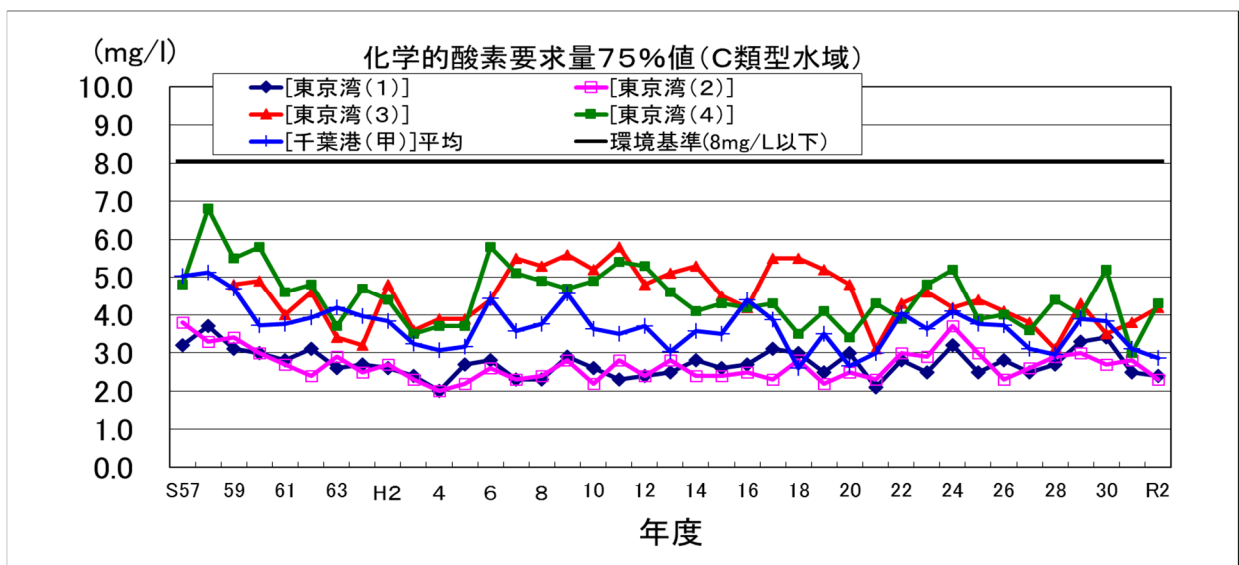
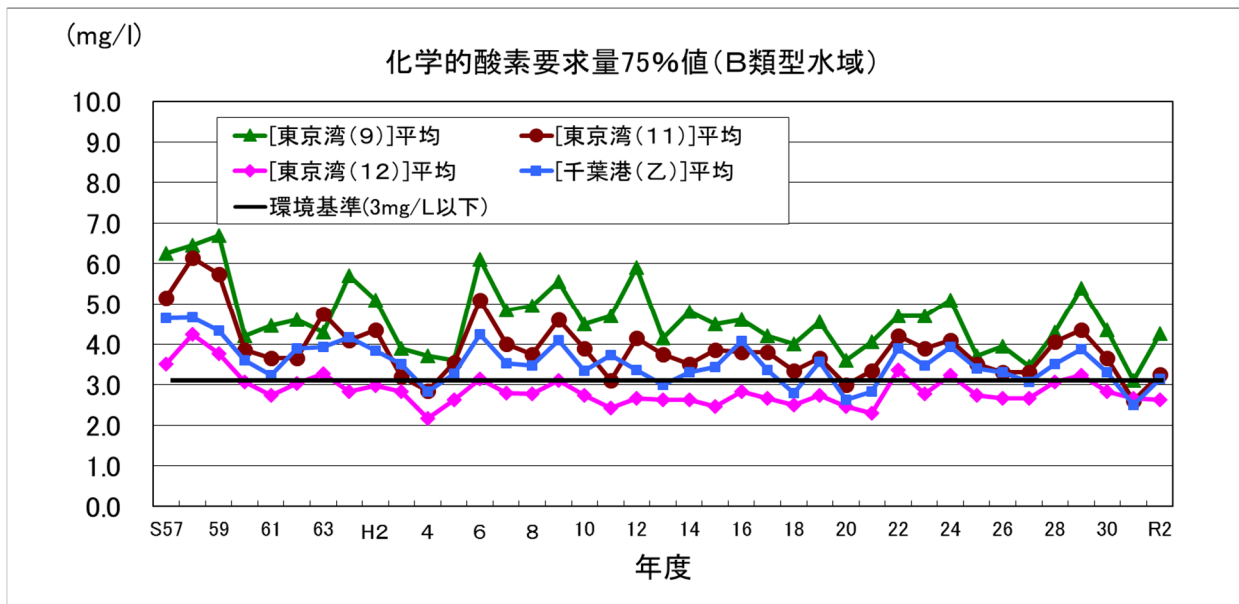
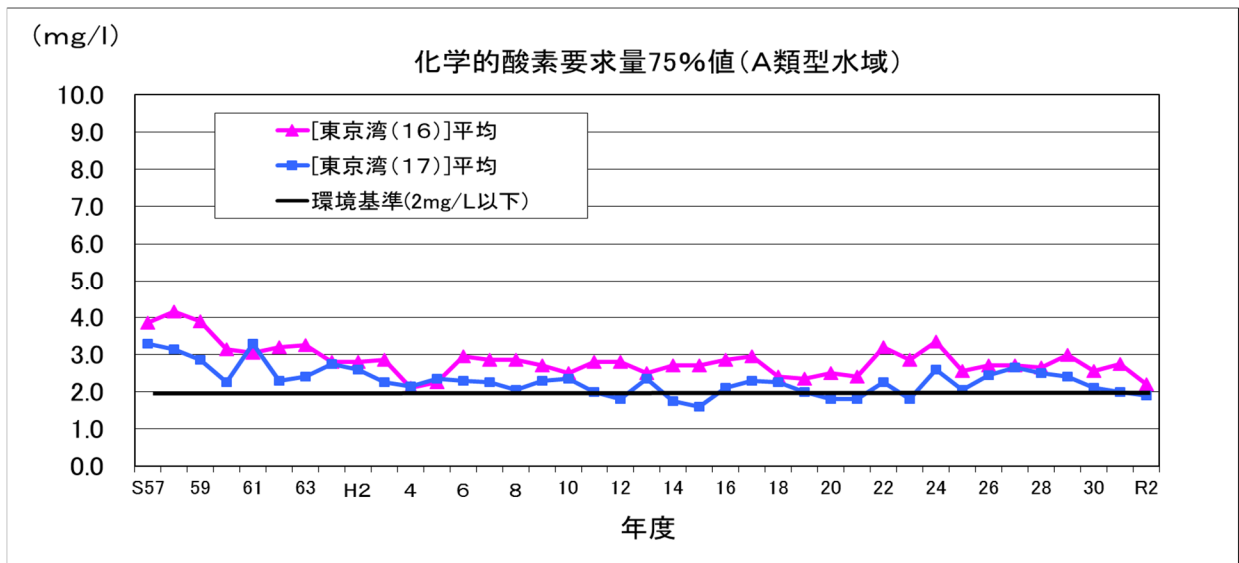


項目	水域類型	基準値
COD	A	2 mg/L 以下
	B	3 mg/L 以下
	C	8 mg/L 以下

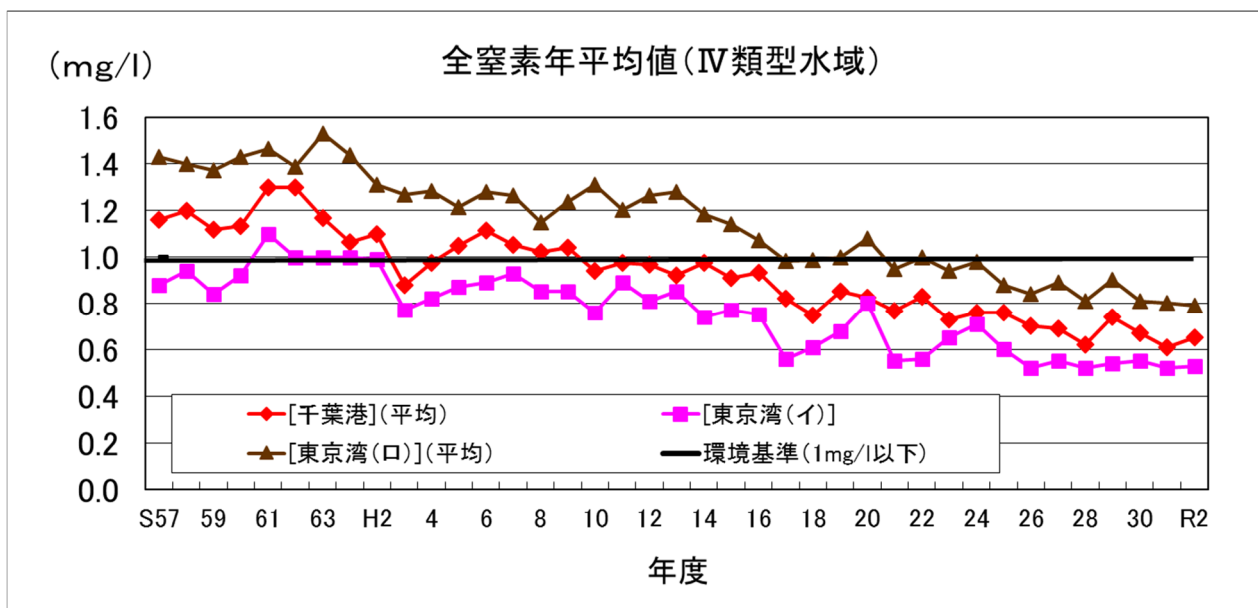
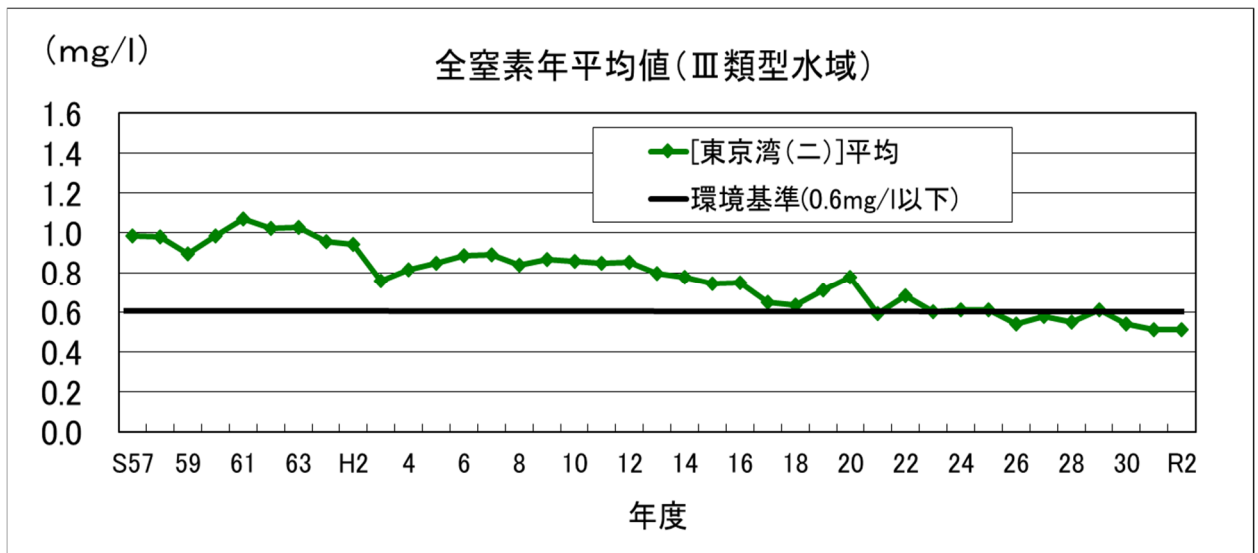
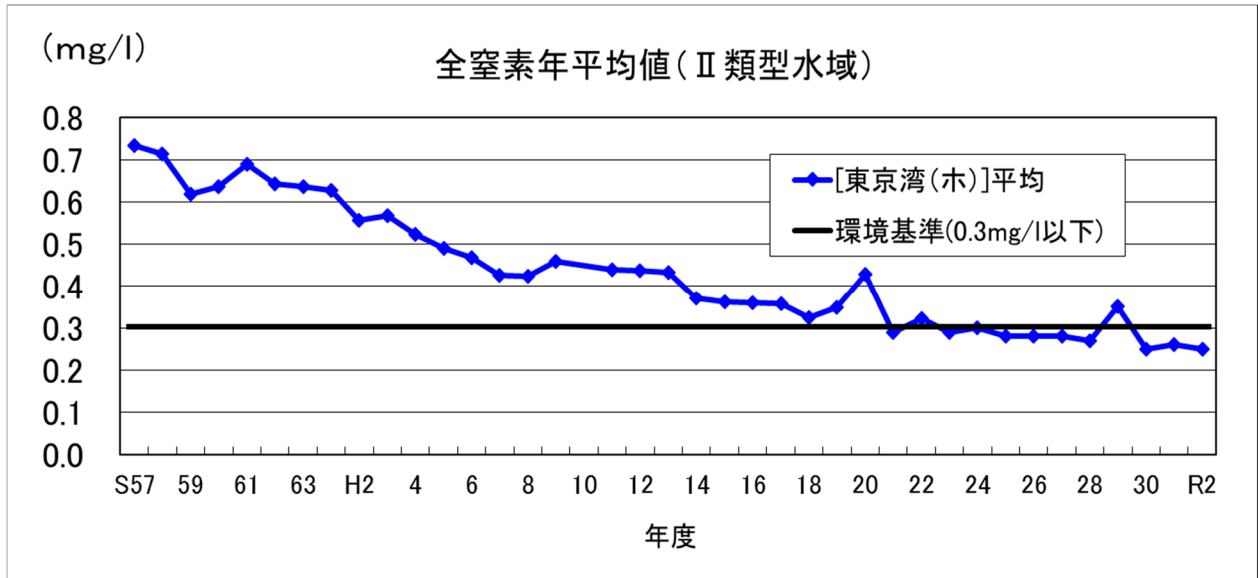
項目	水域類型	基準値
全窒素	II	0.3mg/L 以下
	III	0.6mg/L 以下
	IV	1 mg/L 以下
全りん	II	0.03mg/L 以下
	III	0.05mg/L 以下
	IV	0.09mg/L 以下

2 化学的酸素要求量 (COD)、全窒素 (T-N)、全りん (T-P) の水質状況

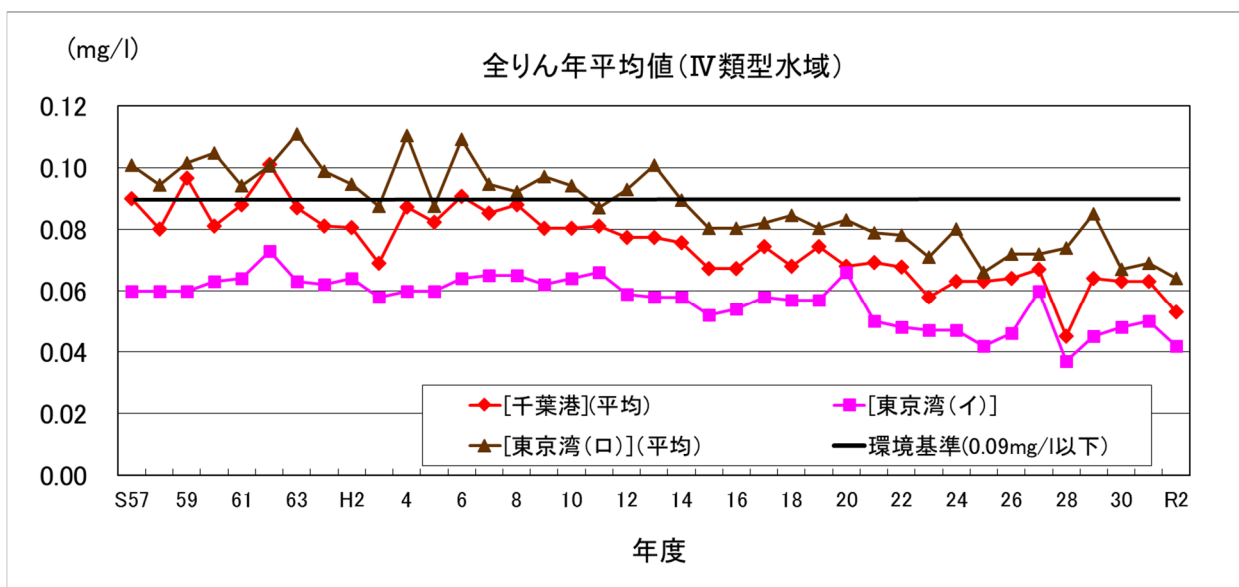
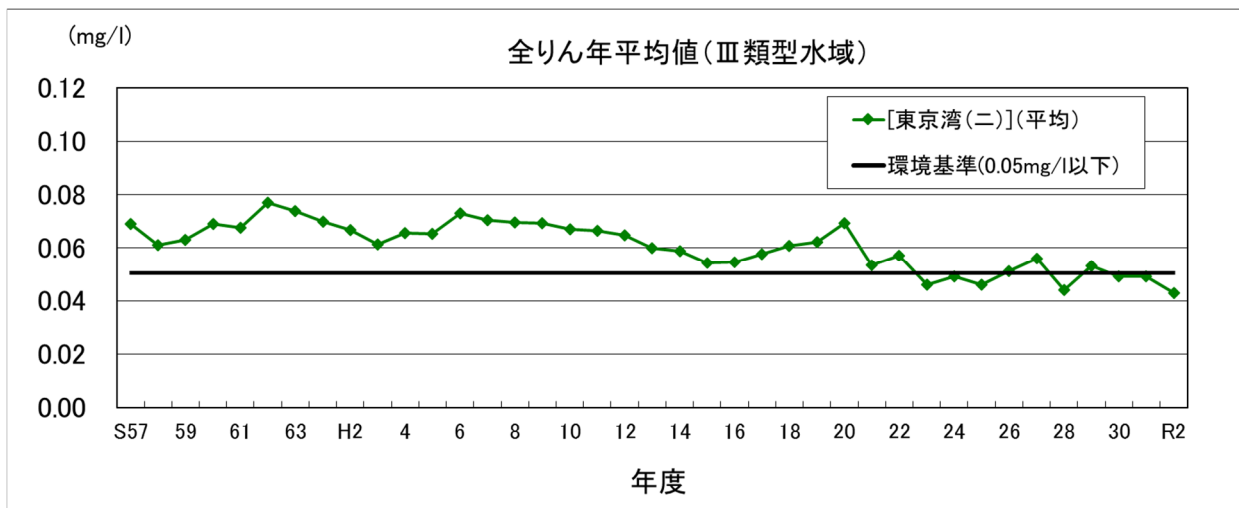
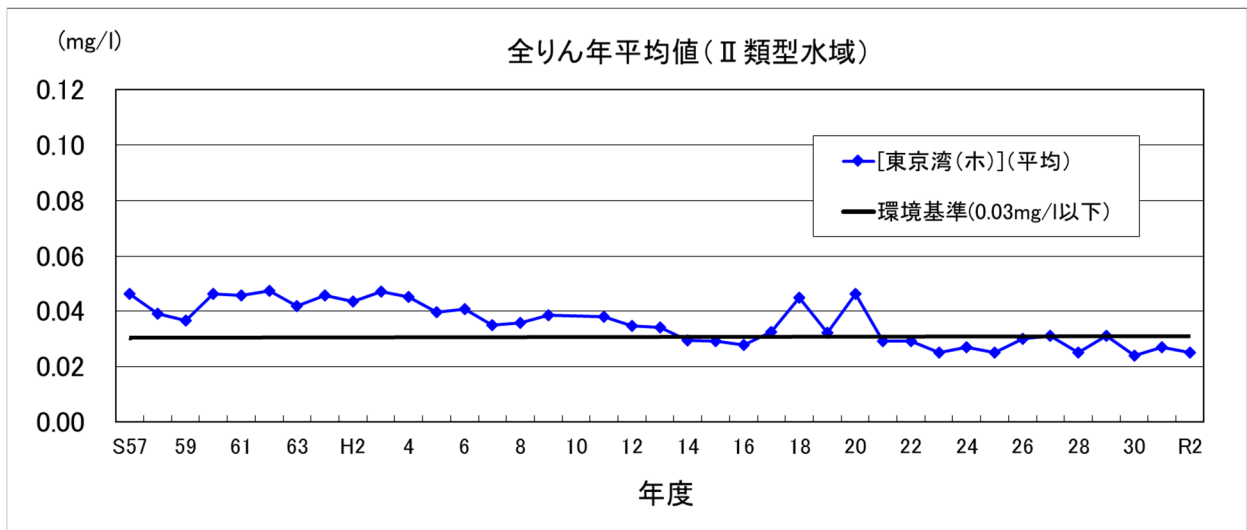
(1) 化学的酸素要求量 (COD)



(2) 全窒素 (T-N)

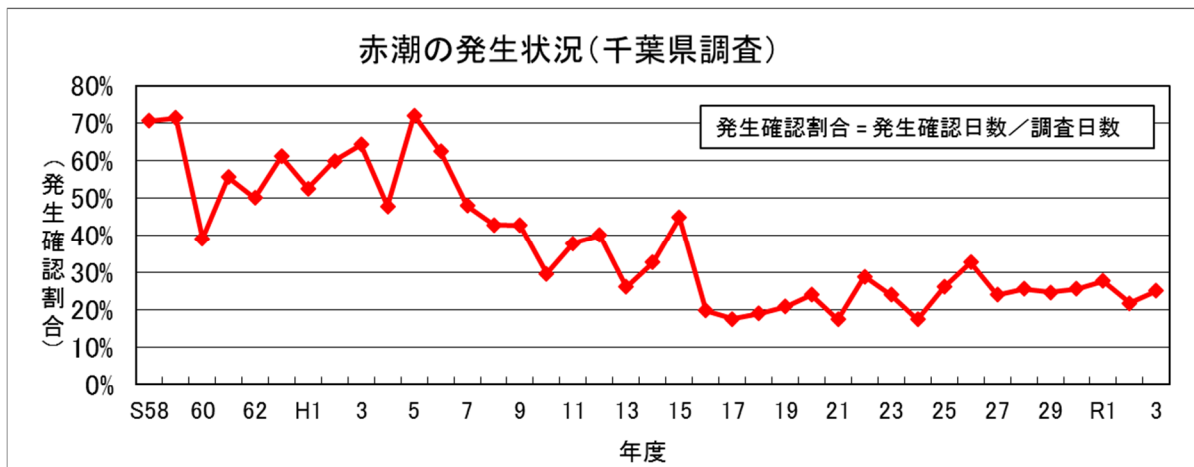


(3) 全りん (T-P)



3 赤潮、青潮の発生状況

(1) 近年の赤潮発生状況

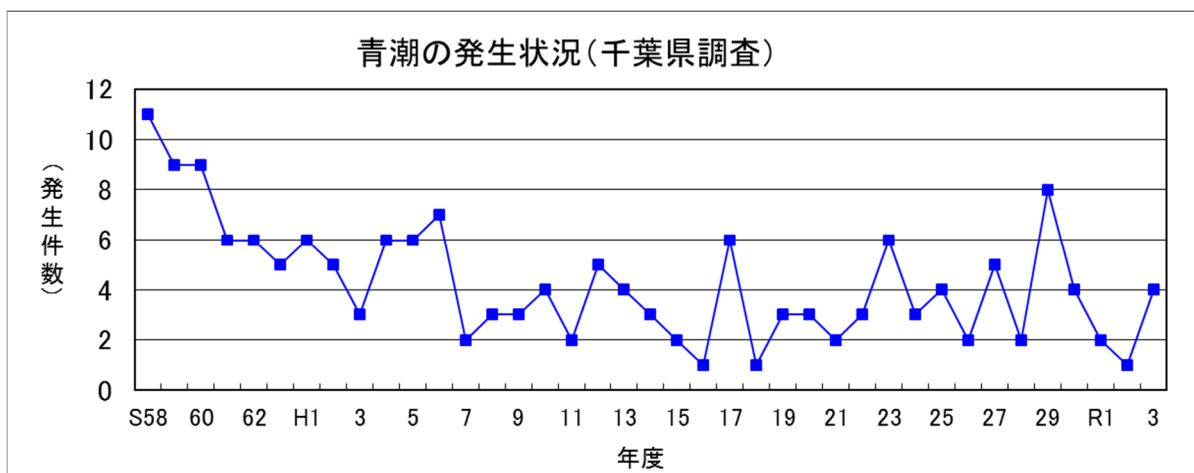


年度	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
発生確認日数	1 4	1 3	1 3	1 0	6
調査日数	5 7	5 1	4 7	4 6	2 4
割合 (%)	2 5	2 6	2 8	2 2	2 5

※R 3年度については9月末時点

※2 9年7月に発生した赤潮では、県及び沿岸市に、悪臭に関する問い合わせ(苦情)が1 1 8件あった。(県3件、千葉市1 0 9件、習志野市3件、浦安市3件)

(2) 近年の青潮の発生状況



【令和元年度】（直接的な漁業被害報告なし）

発生時期	発生場所・被害状況
6月10日～ 6月13日	浦安近辺～船橋三番瀬～船橋港～茜浜～幕張沖～稲毛の浜～千葉中央港～市原港～養老川河口
7月8日～ 7月11日	市川航路西側～船橋三番瀬～船橋港～茜浜～幕張沖～検見川の浜～千葉中央港

【令和2年度】（直接的な漁業被害報告なし）

発生時期	発生場所・被害状況
9月2日～ 9月3日	船橋港内、茜浜沿岸

【令和3年度】

発生時期	発生場所・被害状況
7月27日～ 7月28日	浦安近辺～行徳三番瀬～船橋港～茜浜～幕張沖～稲毛の浜～千葉中央港
9月3日～ 9月10日	市川航路～船橋港～茜浜～幕張沖、稲毛の浜～千葉中央港
9月27日～ 9月29日	船橋港、幕張沖、千葉中央港
10月14日～ 10月15日	行徳三番瀬～船橋港～茜浜～幕張沖、千葉中央港

○過去の漁業被害の状況

- ・平成26年8月から9月上旬に発生した青潮で、アサリ（約4,180トン）が死滅した。
- ・令和3年9月上旬に発生した青潮で、ホンビノスガイ、アサリ等の死滅や、貝類及び魚類を対象とした漁業操業見合わせなどの被害が発生した。

